



卯年 1 月（睦月）に思うこと

教務主任 松原 剛志



令和 5 年が幕を開けました。本年は卯年、うさぎは跳びはねることから、「飛躍する年」になるといわれます。では昨年の寅年はどうだったのかと思ひ調べてみると、「成長や始まりの年」だったそうです。寅年で成長した力を発揮し、卯年で飛躍できるようにしたいものです。

さて、1 月のことを「睦月（むつき）」と呼びます。その語源として睦び月（むすびつき）が「睦月」に転じたという説が有力です。そして、仲よくすること、仲睦まじいこと、お互いに親しみ合うこと等を大切にする「睦び月の宴」を、お正月に家族や親戚が集まって行うことが由来となっています。

家族が一家団欒のときを過ごしたり、もっと広い意味では「仲間」「学級」「所属するグループ」が仲よくしたりすることが、時代を超えて大切であることを教えてくれています。

私事になりますが、大学から始めて、現在もライフワークとして続けていることがあります。それは『弓道』です。今では雄山中学校の弓道部を指導させていただいていますが、20 年以上もよく続けてこられたものだと自分でも思います。大きな理由として、一緒に弓を引く仲間の存在があります。元来、弓道は個人のスポーツですから、的に向かって弓を引く時は一人です。的までの距離は 28m と決まっており、相手（的）も動きません。結果は自分次第であり、常に自分との闘いです。ですからさすがに一人ですと弓を引いていると孤独感に苛まれるときがあります。そんなとき、周りに（たとえそばにいても）仲間がいて、同じように頑張っているに違いないと思うと、不思議とまた気力が湧いてきます。年齢も多様で、10 代であろうと 80 代であろうと、互いに認め合い、切磋琢磨しながら「正射必中」を目指して日々努力しています。

話を学校生活に当てはめると、今まさに目標の進路に向かって努力している 3 年生を筆頭に、何かを達成しようと挑戦している人も同じではないでしょうか。目標を達成できるかどうかは

自分次第・・・と分かってはいるけれど、一人ではくじけそうになることもあります。



「仲間と一緒に頑張れる。」 学校という集団生活でこそ味わってほしい、集団だからこそその経験です。生徒一人一人が飛躍できる年になるよう、心を込めて支援していきたいと思います。



書初め大会

1 月 10 日（火）、始業式後に校内書き初め大会を行いました。各教室では、生徒たちが一筆一筆に思いを込め、真剣に取り組んでいました。金賞の受賞者を紹介します。



1 年	浦田 夏帆	堀 涼々	瀧本 快光	関山帆乃夏	高田 陽世	森 春菜
2 年	森川 愛子	大野 世奈	城戸 彩羽	鵜飼 心優	北條 有梅	堀 実月
3 年	土田 采来	山本 楓華	扇原 珠桜	中嶋 玲那	大田 美有	佐伯 心優

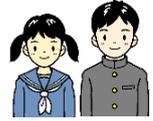
2 月の行事予定

2 月 2 日（木）	私立高校一般入試〔3 年生〕	1 5 日（水）	進路懇談会（～1 6 日）〔3 年生〕
3 日（金）	令和 5 年度入学説明会（小 6）		学校納金口座振替日
1 1 日（土）	建国記念の日	2 0 日（月）	学年末考査（～2 2 日）
1 2 日（日）	富山高専一般入試〔3 年生〕	2 3 日（木）	天皇誕生日
1 3 日（月）	県立高校推薦入試〔3 年生〕		



生徒作文

12月23日（金）の2学期終業式、1月10日（火）の3学期始業式で、各学年の代表が発表した作文を紹介します。



2学期にがんばったこと

私が、2学期頑張ったことは、部活動の大会や学校行事です。私は、バドミントン部に所属しています。2学期は、新人戦やオープン戦など様々な大会がありました。新人戦では、団体優勝、個人戦は、ベスト8、オープン戦では、ダブルス準優勝など好成績をおさめることができ、今までで一番輝くことができました。練習でうまくいかなかった時や苦しかった時は、好きな音楽で気持ちを切り替え、指導者の先生方や周りから頂いた温かい言葉を支えに、ネガティブな気持ちを常にポジティブに考え練習を頑張りました。つらくても、気持ちを明るくもち、頑張りが続けたことが結果になり、とてもうれしかったです。学校行事では、体育大会や合唱コンクールなど学校行事の中でも大切な行事がありました。賞を取ることはできませんでしたが、自分にできることを精一杯取り組み、どの行事もとても楽しく、小学校とは違う体験ができたことがすごくうれしかったです。

年が明けて、新学期が始まります。私の新学期の目標は、「勉強力をあげること」です。2学期は思うように点数が取れず、落ち込んだこともありました。新学期は、もっともっと勉強して自分が満足できる点数を取れるように全力を尽くしたいと思います。さらに来年は、1学年上がり、先輩という立場になります。今の先輩方から、学校行事に積極的に取り組み、この雄山中学校を守っていくという姿を見てきました。来年から、私たちがその立場になります。雄山中学校の生徒として、新1年生を引っ張っていく、信頼される先輩になれるように頑張りたいと思います。

1年 石田 千桜花

新年に向けての抱負

僕の3学期の抱負は、しっかりと目標を立てて実行することです。その理由は、学習や習い事、趣味など、出来るようになりたいことがいろいろあるからです。学習面では、2学期は自分で計画を立てて学習することが出来ました。3学期も気を緩めずに継続して行い、通知表の5教科の合計が目標を維持するように頑張っていきたいです。そのために、テスト前だけ勉強するのではなく、普段の授業をしっかりと聞き、ノートを丁寧にとっていきます。また、家では計算練習や英単語の練習、学習ソフトなどを上手に使って勉強したいと思っています。

習い事では、エレクトーンの進級試験があるので、それに合格できるように試験対策を頑張りたいです。僕は、特に初見演奏が苦手で、弾き直しが多くなってしまいます。進級するにつれ、覚えることも増え、アレンジも難しくなります。これは繰り返し練習することが大切なものなので、色々な課題に繰り返し取り組み、力を身に付けたいです。さらに、趣味のスキーでは、パラレルターンができるようになりたいです。まだうまく滑ることができないので、家でもスキーの動画を見るなどして、滑りの研究をし、綺麗なパラレルターンができるようになりたいです。これら3つのことを達成するために、一日一日を大切に過ごし、悔いのない3学期にします。

1年 杉本 皓貴

2学期にがんばったこと

僕が今年頑張ったことは、部活動です。僕は駅伝部に所属しています。1年生の頃は、メンバーに選ばれず、とても悔しい思いをしました。しかし、悔しさをバネに練習を積み重ね、2年生になってメンバーに選ばれました。最初は正直、やる気が出ませんでした。練習に行くのもめんどろでした。厳しい練習をしていく中で、もう嫌だ、やめたいと思うことは何度もありました。

そんな時、いつも背中を押してくれたのは、中野先生の熱いご指導と仲間の励ましでした。3年生の中谷先輩は、練習が終わった後、「お疲れ」や「みんなで頑張っ、全国大会に行こう」など。沢山声を掛けてくださいました。同じく3年生の寺坪先輩は、どんな時でも笑わせてくれる、とても面白い先輩です。学年が違う僕にも気軽に声を掛けてくれ、仲良くしてくれました。先輩方のおかげで、辛い練習も頑張ることができました。県駅伝では2位で全国大会に行けなかったけれど、北信越大会では富山県1位になることができ、県大会よりもゴールタイムが早くなって嬉しかったです。

北信越大会で大好きな先輩方が引退されました。今は悲しく、寂しい気持ちでいっぱいですが、これからは僕たち2年生が先輩方を安心させられるようなチームをつくっていきます。正直、不安でいっぱいですが、来年も全国大会に行くことを目標として、これからの練習を頑張っていきたいです。仲が良く、雰囲気の良いチームをつくることのできるよう、学年問わず声を掛け、みんなが気持ちよく活動できるように頑張ります。そして、先輩たちと成し遂げられなかった全国大会に必ず出場します。今年も皆さんの励ましに救われたので、引き続き応援よろしくお願ひします。

2年 泉野 秀成

新年に向けての抱負



中学校生活の3年間のうち、すでに折り返し地点を過ぎ、3学期の始業式を迎えています。3学期に頑張りたいことは沢山ありますが、特に頑張りたい3つの取り組みについて紹介したいと思います。1つ目は「勉強」です。入学した当時、勉強が面白くなく、意欲もなかったのが苦労しました。どうしたら勉強にやる気が出るかを考えた結果、「目標」を立てることにしました。目標と言っても、テストでいきなり高得点をとるという目標ではなく、まずは、65点以上とるという身の丈に合った目標をつくり、これが達成されれば、次は70点と、どんどん高い目標を設定しました。結果、テストの点数は上がり、勉強意欲が高まりました。

2つ目は「部活」です。その理由は、自分が本気で部活に取り組めるのが3年生の新川地区大会までなので、残り半年ぐらいしかないからです。僕の目標は、引退する時に「全員がやってよかった」と思えるようなチームづくりです。そのためには、練習中や試合中にもっと前向きな「声掛け」が必要だと思っています。これからは、自分から積極的に声を掛け、良い雰囲気をつくっていきたいです。

最後は「生活リズム」です。勉強も部活も基本は生活リズムを整えることが大事だと思います。勉強などが難しくなると、集中できなくなる事もあると思いますが、今頑張ることは勉強と部活だと自分に言い聞かせ、生活リズムを乱さないようにしていきたいです。そして、3年生までには、この3つを当たり前ができるよう、今日から自分に厳しく頑張っていきます。

2年 秋元 遥仁

2学期にがんばったこと

私はこの2学期、みんなの先頭に立ち、良きリーダーとなれるよう、様々な学校行事に取り組んできました。合唱コンクールの指揮者をはじめ、委員会の委員長や青龍団の団長など、みんながついていきたいと思えるようなリーダーになるために頑張ってきました。

青龍団の団長としての活動には、委員長や指揮者と比べ、よりたくさんの壁がありました。団活動に入ると、団員を上手くまとめられない、指示が思うようにできないなど、たくさんの問題が出てきました。集団活動の大変さは想像を超えるもので、団リーダーと活動方法を振り返り、何度もぶつかり合いながら話し合いを重ねました。何度話し合っても目標である「3年間で一番の思い出にしたい。四冠を勝ち取りたい」という気持ちは、みんな一緒でした。先頭に立ち、団員をまとめ上げられるよう声掛けを工夫し、率先して声を出しました。体育大会が近づくにつれ、団員も私たちについてきてくれて、まとまりのある青龍団になりました。団活動の中でうまくいかないこと、大変なことがあったからこそ、リーダー同士が、なんでも話し合える仲間になれたのだと思います。

私は活動を通して仲間と何でも話し合える関係を築くことが、今後、学校生活だけでなく、どの場においても大切なことだということに気づきました。卒業までの残りの中学校生活をよりレベルアップできるよう、2学期に頑張ったことを心にして、3学期の活動に取り組みたいです。振り返った時に、やり残したことがないと思えるように頑張りたいです。

3年 青木 仁子

新年に向けての抱負



私は、1年生から中野先生のもとで、走り込み、シャフト、サーキット等のきつい練習をしてきました。辛くて嫌になることもあったけれど、中野先生のことを信じて頑張ってきました。そのおかげで、今年1月15日に京都で行われる皇后杯全国都道府県対抗女子駅伝競争大会の中学生代表の3人に選出され、全国の中学生と競える機会をいただきました。私は、3年間の部活動を通して多くのものを得ることができました。今まで自分に甘かった私は、この2年半で自分に厳しくなり、自分で決めたことは最後までやりきることが出来るようになりました。また、時間の使い方もうくなりました。今すべき事を速やかに終わらせてから、自分のしたいことに時間を使えるようになりました。陸上は個人競技なので、大会で競う相手は、毎回、ほとんど同じ人になります。競っているうちに、この人には負けたくない、この人に近づけるようになりたいという気持ちをもつようになり、日々の練習は、その人に勝つ気持ちで取り組んできました。このように同じ目標を目指して競い合える仲間をもてたことは、とても良い経験でした。3学期は都道府県大会の練習会で得ることができた「積極的に行動すること」「自分から挨拶すること」を日常に活かしたいです。また、今年は受験があります。1日1日の時間を大切に、焦らず勉強したいです。受験は個人だけで頑張るよりも、高め合える仲間と頑張る方が力を発揮できると思っています。仲間と切磋琢磨して受験を乗り切りたいです。

3年 佐渡 結月